

4 地区小体連のあゆみ

[1] 宮崎市小学校体育連盟

I 年間事業

予定日	曜	事業名	主な内容	会場(予定)	開始予定期刻
4月23日	火	常任理事会	第1回理事会内容検討 研究内容、研究組織検討 事業計画 陸上競技大会検討	生目台東小学校	15:30~
5月9日 (教科等主任会)	木	教科主任会 第1回理事会	役員選出 事業計画 陸上競技大会検討 実技指導法	赤江小学校	15:00~
5月24日	金	常任理事会	泳力向上大会、研究推進	生目台東小学校	15:00~
6月7日	金	第2回理事会 (体育主任会)	泳力向上大会検討 研究推進(指導案検討等)	中央公民館	14:00~
水泳指導期間中		水泳記録測定	泳力指導と泳力調査	各学校	
7月30日	火	令和6年度小学校体育地区別講習会		県武道館	終日
8月22日	木	第3回理事会 (体育主任会)	実技を伴う研究推進	生目台東小学校	14:00~
10月29日	火	第65回宮崎県学校体育研究発表大会 小林大会		小林市内各会場	終日
11月10日	日	小学校6年生陸上記録会 オリンピックゲームズ		生目の杜 陸上競技場	13:00~
11月11日	月	宮崎市小学校体育連盟授業研究会 第4学年 ネット型ゲーム(ソフトバレー)		宮崎市立田野小学校	13:30~
11月27日	水	宮崎市小学校体育連盟授業研究会 第5学年 ネット型ゲーム(ソフトバレー)		宮崎市立宮崎西小学校	13:30~
12月10日	火	宮崎市小学校体育連盟授業研究会 第6学年 ネット型ゲーム(ソフトバレー)		宮崎市立那珂小学校	13:30~
12月17日	火	宮崎市小学校体育連盟授業研究会 第5学年 ネット型ゲーム(ソフトバレー)		宮崎市立田野小学校	13:30~
12月18日	水	宮崎市小学校体育連盟授業研究会 第6学年 ネット型ゲーム(ソフトバレー)		宮崎市立宮崎南小学校	13:30~
1月23日	木	常任理事会	年間反省・次年度に向けて	生目台東小学校	15:00~
2月6日	金	第4回理事会 (体育主任会)	年間事業報告・研究部反省 事業部反省・次年度の計画	中央公民館	15:00~

II 事業部のあゆみ

1 水泳競技の部

(1) 大会名 第5回宮崎市小学校泳力向上大会(記録会)

(2) 参加児童 宮崎市内各小学校5、6年生全児童

(3) 実施種目 ○25m(自由形、平泳ぎ) ○50m(自由形、平泳ぎ)

(4) 実施方法

<一般種目>

・泳げた距離を測定し、(クロール・平泳ぎが)25m以上泳げた児童に学校名・学年・氏名・種目・記録(m)が記載された記録証を授与する。

<選手種目>

・発展型の学習として、各種目男女2名ずつ、タイム測定し小体連が集約。宮崎市上位10傑を決め、10位以内に賞状、盾、上位3位にはメダルを授与する。11位以下の児童には記録証を授与する。

・100分の1秒以下を切り上げて、10分の1秒までの記録を提出する

(5) 反省

今年度も各学校での開催。新型コロナウィルス感染症も5類に移行し、水泳学習も少しづつコロナ以前の形に戻りつつある。実施方法や記録証配付について、昨年度の反省を生かし、少しづつ改善することができている。しかし、各学校での開催では、学校の実態によっては測定による人員の確保が難しく、全ての学校での選手種目の記録の測定を実施することができないという課題が残った。

コロナ禍以降、少しづつ学習形態が戻りつつある。水泳学習や泳力向上記録会の実施の仕方についてある程度各学校とも掴めた部分があると思うので、来年度はより多くの学校で記録測定を実施し、記録証を配付できる児童を増やすことができるよう取り組んでいきたい。

2 陸上競技の部

今年度も各学校での開催。各学校の実態に応じ、可能な範囲で選手種目を実施。また、選手種目にエントリーされなかった児童については以下に示すルールのもと各学校にて一般種目を1種目実施することとした。

- (1) 選手種目
- ① 種目
- 「100m走」「50mハードル走」「走り幅跳び」「走り高跳び」「ソフトボール投げ」「男子1000m走」「女子800m走」
- ② ルール
- 基本的には一斉開催の時と同じルールで行う。しかし、各学校の実態があるため、100m走は必ずしも直線でなくてもよいこととした。
 - 走種目については、県標準記録認定の関係上2人で測定し、遅い方の記録を採用することとした。
- (2) 一般種目
- ① 種目
- 「80m走」か「50mハードル走」の2種目から、各学校でいずれか1種目を選択して実施。
- ② ルール（共通実践事項）
- 「80m走」
 - ・ スタンディングスタートで行う。
 - 「50mハードル走」
 - ・ スタンディングスタートで行う。
 - ・ ハードルの台数は5台で行う。
- ③ 表彰
- 各学校で記録を測定した場合、記録証を配付する。
- (3) 反省
- 一堂に会しての陸上大会は実施しなかったものの、各学校で一般種目、選手種目の実施ができた。各学校で記録を測定し記録を提出する流れに少しずつ定着してきたと思われる。しかし、各学校での開催は学校の実態によっては測定による人員の確保や多種目の指導が難しいという課題が残った。また、実施方法に差があり、6年生児童の意欲の差にも繋がると思われる。次年度は今年度の各学校での実施方法など情報を共有し、できる限りどの学校の6年生児童も意欲を持てる記録会にしていきたい。

3 宮崎市小学校6年生陸上記録会（オリンピックゲームズ）

昨年度に引き続き、2回目の開催となった。当日は悪天候により欠席する児童も少なくなつたが、100m走のデモンストレーションや陸上教室も同時開催し、大変有意義な時間となった。昨年度の種目に加え、今年度は50mハードル走も実施した。陸上連盟の力を借りしながら、6年生児童にとって陸上競技場で競技ができるることはとても貴重な経験だったようである。次年度も多くの参加人数が集まるよう、各学校への周知を図っていきたい。

＜各種目入賞者＞

女子 100M走		女子 50Mハードル走		女子 800M走		
総合順位	氏名（所属）	記録（秒）	氏名（所属）	記録（秒）	氏名（所属）	記録
1	山下 ちなみ（西池）	14" 64	宇田川 ありあ（附属）	8" 95	山田 恋凜（大淀）	2' 42" 26
2	大平 望結（櫻）	14" 65	岩切 優花（大淀）	9" 17	山下 珠奈（小松台）	2' 46" 67
3	山部 真歩（西池）	14" 85	前田 葉奈（本郷）	9" 31	日高 花菜（小松台）	2' 54" 65
4	二宮 梓奈（小戸）	14" 86	渡邊 結奏（大淀）	10" 15	吉見 円（附属）	2' 55" 95
5	村中 杏璃（生目台西）	15" 06			黒岩 明星（住吉）	2' 57" 29
6	直島 結衣（大塚）	15" 18			大峯 光織（西池）	2' 57" 50

男子 100M走		男子 50Mハードル走		男子 1000M走		
総合順位	氏名（所属）	記録（秒）	氏名（所属）	記録（秒）	氏名（所属）	記録
1	入佐 翔真（宮崎港）	12" 88	阿萬 琉輝斗（大淀）	8" 25	前田 晴貴（大淀）	3' 08" 16
2	柳田 皓輝（清武）	13" 33	クリンガー 仁光（学園木花台）	9" 11	小西 隆之介（大淀）	3' 15" 99
3	日高 仁（田野）	13" 51	中村 海人（宮崎南）	9" 34	石川 葵唯（池内）	3' 18" 78
4	米岡 友彰（恒久）	13" 68	武田 康士朗（清武）	9" 54	田畠 志竜（宮崎港）	3' 20" 60
5	重山 梓太（櫻北）	14" 21	中武 肇久（江平）	10" 59	川越 悠史（加納）	3' 26" 49
6	川崎 貢史（池内）	14" 30	橘秋 陽人（西池）	10" 88	岩浦 佑樹（加納）	3' 26" 53

III 研究部のあゆみ

1 研究主題・副題

生涯にわたって心身の健康を保持増進し、 豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の基礎を育む体育科学習 ～ネット型ゲーム・ボール運動におけるＩＣＴを利活用した指導の工夫～

体育の学習目標の達成のために、ICT は今や欠かせないツールとなっている。それは自らの運動の様子を客観的に捉えるための動画撮影であったり、運動のポイントや課題を共有するための思考ツールの活用であったり、或いは仲間と作戦を考えるための試行の場であったりとその活用方法は多岐に渡る。本市小体連では昨年度より体育科学習における ICT を利活用した指導の工夫をテーマに設定した上で研究を進め、ICT 活用のアイディア集をまとめることができた。そこで、今年度は個人的な技能の向上場面やよりよい攻撃につなげるための位置取りなど、より ICT の活用場面が多いと思われるネット型ゲーム・ボール運動に単元を絞ってアイディア集の活用実践を深めていく。加えて、宮崎市の小体連の構成として、教職員としての経験年数も比較的浅く、体育の指導経験の少ない教師が多いという実態がある。そこで、体育授業の作り方を再度確認し直し、ネット型の単元において一人一実践を行うことで研究主題にせまることとした。

2 研究の内容

○ 体育科学習（ネット型ゲーム・ボール運動）における資質・能力を高めるためのICTの利活用

授業の目標を達成するための ICT の効果的な活用についてネット型ゲーム・ボール運動に絞って研究を深める。また、全体育主任が当該領域において授業作成シートを作成した上で一人一実践を行うようにした。

その中で、昨年度の研究において実践を深めた「ICTを効果的に活用する5つの場面」をもとに、どの場面でICTを取り入れるのかを設定するようにした。実践後、各々が成果と課題を振り返り、それらを「授業作成シート集」としてまとめ、宮崎市小体連のホームページに掲載することにした。

○ 宮崎市小体連授業研究会の実施

本年度は、5つの班に分かれて授業研究会を行った。

1～3年生班	4年生班	5年生班	6年生班①	6年生班②
プレルボール	ソフトバレーボール	ソフトバレーボール	ソフトバレーボール	ソフトバレーボール
早川 翼教諭 (宮崎西小)	山田 雅彦教諭 (田野小)	植野 裕大教諭 (国富小)	早田 将基教諭 (那珂小)	春山 文香教諭 (宮崎南小)

3 研究の実際

(1) ネット型ゲーム・ボール運動学習における資質・能力を高めるための ICT の利活用（授業作成シートを用いての一人一実践）

表1は「授業作成シート」の具体である。「授業作成シート」には、単元での学習を進めるにあたって設定する①目標、②評価規準、③学習計画及び評価計画を記入した。体育の授業を組み立てる上で事前に必要となる事項を1ページにまとめることで、経験が少ない指導者も視点をもちながら、授業づくりができるようにした。また、④には授業を計画するにあたって、設定したICTを活用する場を明記した。設定する際、昨年度の研究において作成したICT活用のアイディア集を参考にし、ネット型ゲーム・ボール運動領域での授業で活用できるようにした。

【表1：授業作成シート】

【表2：授業振り返りシート】

ように、単元での学習を進めるにあたって必要な事項をまとめ、ICTの利活用の視点をもちながら、単元の学習を計画し、実践することで、ICTを活用し、指導と評価の一体化を図るようにした。これらの作成したシートは、宮崎市小学校体育連盟のホームページに資料として掲載し、授業づくりの参考にできるようとする。

(2) 授業研究会

○ ICTを活用した授業

第4学年のソフトバレーボール運動の授業は、「練習したことを試合で確かめながら、チームワー

クをさらに高めよう」
の〈めあて〉のもと学

習に取り組んだ。児童は、前時までに高めた技能を使ってゲーム1に取り組み、そのゲームの様子を動画撮影するようにした（写真1）。ゲーム間の話し合いでは、その動画をもとにチームの課題を焦点化し、次のゲーム2につなげるようにした（写真2）。

第3学年のプレルボールの授業では、めあてを「上手くパスがつながる、ならび方や動き方について考えよう」と設定し、写真3のように、指導者が事前に準備した並び方のパターンを児童がいつでも確認できるようICTを活用し、どの並び方が最も3段攻撃につなげやすいかを子ども達が実際に動きながら確かめた。

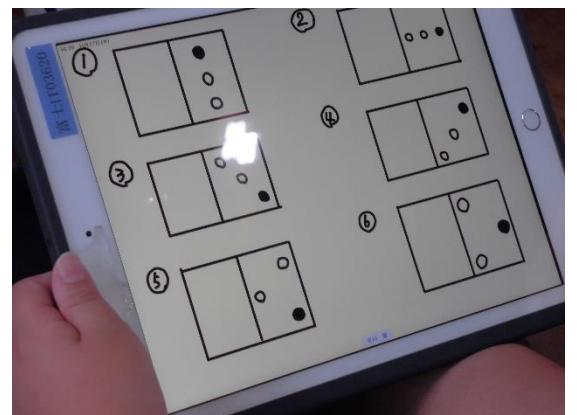
それにより、児童は自分達のコートで並び方を確認することができ、前面掲示よりも移動する時間を減らし、運動量の確保につなげることができた。



【写真1: ゲーム動画の撮影】



【写真2: 動画をもとにした話し合い】



【写真3: 並び方の確認】

4 成果と課題

- 昨年度作成したICT活用のアイディア集を実践で活用し、ネット型ゲーム・ボール運動領域での授業で活用することができた。
- 全員が授業作成シートを作成して一実践を行ったことで、経験の少ない指導者もネット型ゲーム・ボール運動の授業作りの視点やICTを活用する場面について研究を深め、授業力の向上につながった。
- 授業研究会では、「授業参観」、「事後研究会」、「実技指導」の柱で会を進めたことで、参加者にとって授業の作り方だけでなく、各運動の特性の理解にもつながる内容にすることができた。写真4は、授業研究会参加者の感想を抜粋したものである。

3 実技研修について

- 初めてプレルボールを体験しました。ゲームも楽しめましたし、キャッチしてボールを出すバージョン、立ち位置の変化バージョンなど、解説を聞きながらの実践で大変勉強になった。大人も身をもって体験できると納得感がある。自分の技能が低くて、いつも実技は気が重いのだが、いざ始まると上手い、下手ではなく、体験しながらも教え方を学ばせていただけるので、楽しめている。
- 授業での注意事項などもたくさん学び、有益でした。
→メモをとりながら受けたいほど、知らないことばかりでした！

【写真4: 研究会参加者の感想】

- 本年度作成した授業作成シート集の周知を図っていく必要がある。
- 研究授業の本数が多くなったことで、一回あたりの授業研究会の参加人数が少なくなり、事後研究会の意見交換が小規模になってしまった。